

交通マネジメント推進に向けた
2019年夏の試行内容（案）について

1. 試行の期間

▶ 大会本番並みの目標を掲げ、交通混雑緩和に向けた取組を総合的にテストする期間を設定

- 道路交通
 - ・一般交通
東京圏の広域における一般交通について、大会前の交通量の一律10%減を目指す。特に重点取組地区については、出入りする交通量の30%減を目指す。
 - ・首都高速道路における交通量の更なる減
首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。

▶ オリンピック・パラリンピックの期間に相当する期間を集中取組期間とし、企業等に重点的な取組を依頼

▶ 各社取組のピークを合わせるチャレンジウィーク及びコア日を中心に、効果測定を実施

▶ TSMは大会時と同等規模で数日試行する他、選手村～競技会場間でバスを実走

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	試行期間(スムーズBiz推進期間)				20
21	チャレンジウィーク(7/22~26)、コア日(7/24)					27
28	集中取組期間① (7/22~8/2)					3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	集中取組期間② (8/19~8/30)					24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

(参考)2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23	オリンピック期間 (7/24~8/9)	
16	17	18	19	20	21	22
23	24	パラリンピック期間 (8/25~9/6)				
	7	8	9	10	11	12

2. 試行の概要

<試行の主な内容>

TDMに関する試行

企業等への働きかけ
(東京圏、重点取組地区、特定エリア等)

政府・都庁の取組 等

TSMに関する試行

高速道路の本線料金所流入調整、
入口閉鎖

一般道路の交通対策 (信号調整)

<検証の主な内容>

交通マネジメント (TDM+TSM) の検証

- ・ 交通量低減
(首都高、一般道)
- ・ 移動時間分布 等

TDMの検証

- ・ 事前事後アンケートによる
企業の取組内容、意向
- ・ 特定エリアでの交通低減量
- ・ 交通量の減少量の推定
等

物流の検証

物流効率化に
向けた取組の
実態調査
(サンプル調査)

TSMの検証

- ・ 本線流入調整
- ・ 入口閉鎖
- ・ 一般道路交通対策

↳ 影響把握を合わせて実施

※テストイベント等の実施に合わせ、各会場付近において大会期間を想定した交通規制等を実施・検証するほか、会場周辺の駐車場利用の抑制に関する試行などを別途実施する。

試行結果を踏まえた、追加対策の検討、大会時に向けた交通マネジメント改善策の検討 等

3. チャレンジウィークの取組

	TDM	TSM
7月22日(月)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
23日(火)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
<TDM取組のコア日、 オリンピック開会式1年前> ※ 24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク) スムーズビズ (コア日) テレワークデイズ2019 (コア日) 国の取組 	【高速】 <ul style="list-style-type: none"> 本線料金所での流入調整 入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 <ul style="list-style-type: none"> 環七内側への流入抑制 (信号調整)
25日(木)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
<チャレンジウィーク期間中に 交通量が多いと予想される日> ※ 26日(金)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	【高速】 <ul style="list-style-type: none"> 本線料金所での流入調整 入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 <ul style="list-style-type: none"> 環七内側への流入抑制 (信号調整)
備考	<ul style="list-style-type: none"> 都庁及び国の取組を含む日 集中取組期間 <ul style="list-style-type: none"> ① 7月22日～8月2日 ② 8月19日～8月30日 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や確認事項があれば8月23日(金)に再度TSMの全部又は一部を実施

※ 24日(水)、26日(金)にはTDMとTSMを同時に実施予定

4. TDMの試行内容

- スムーズBiz参加企業や、関連する取組（テレワークデイズ2019等）への参加企業に対し、試行実施を呼びかける

働きかけの手段	内容
①メールマガジン	・ 2020 T D M 推進プロジェクトの登録企業（約1,600社・事業所：6/14現在）に定期的にメルマガを配信
②説明会	・ 全体説明会、地区別説明会、出張説明会（要請に応じて実施：東商支部や各協会等）
③PRチラシ 試行前アンケート票	・ 経済団体・業界団体を通じ、企業に配布 ・ 重点取組16地区でのポスティング
④イベント	・ スムーズBizキックオフイベント（5/29） ・ テレワーク・デイズ2019&スムーズBiz推進期間プレイベント（7/1）
⑤広報 (動画、ポスター等)	・ 動画 トレインビジョン、TVCM、デジタルサイネージ（主要ターミナル駅）等 ・ ポスター 2020 T D M 推進プロジェクト協力者、国、自治体、首都高、鉄道事業者等に配布 ・ 電車中吊り広告

5. T S Mの試行内容

○ T D M実施期間中に、大会時と同規模のT S Mを実施 (7/24(水)、26(金)等)

(1) 高速道路において終日実施する対策

- ・ 都心部への交通量抑制のため、都心方向への高速道路における11箇所の本線料金所で開放レーン数を終日制限
- ・ 選手村周辺等の4つの入口については、大会期間中、交通規制の形態等から大会関係車両専用となるため終日閉鎖

(2) 一般道において実施する対策

- ・ 都心部への流入交通量を減少させるため、環状七号線上の信号機について、午前5時から正午にかけて都心方向への青時間の短縮等を実施



一般道での対策



【TSM対象箇所】

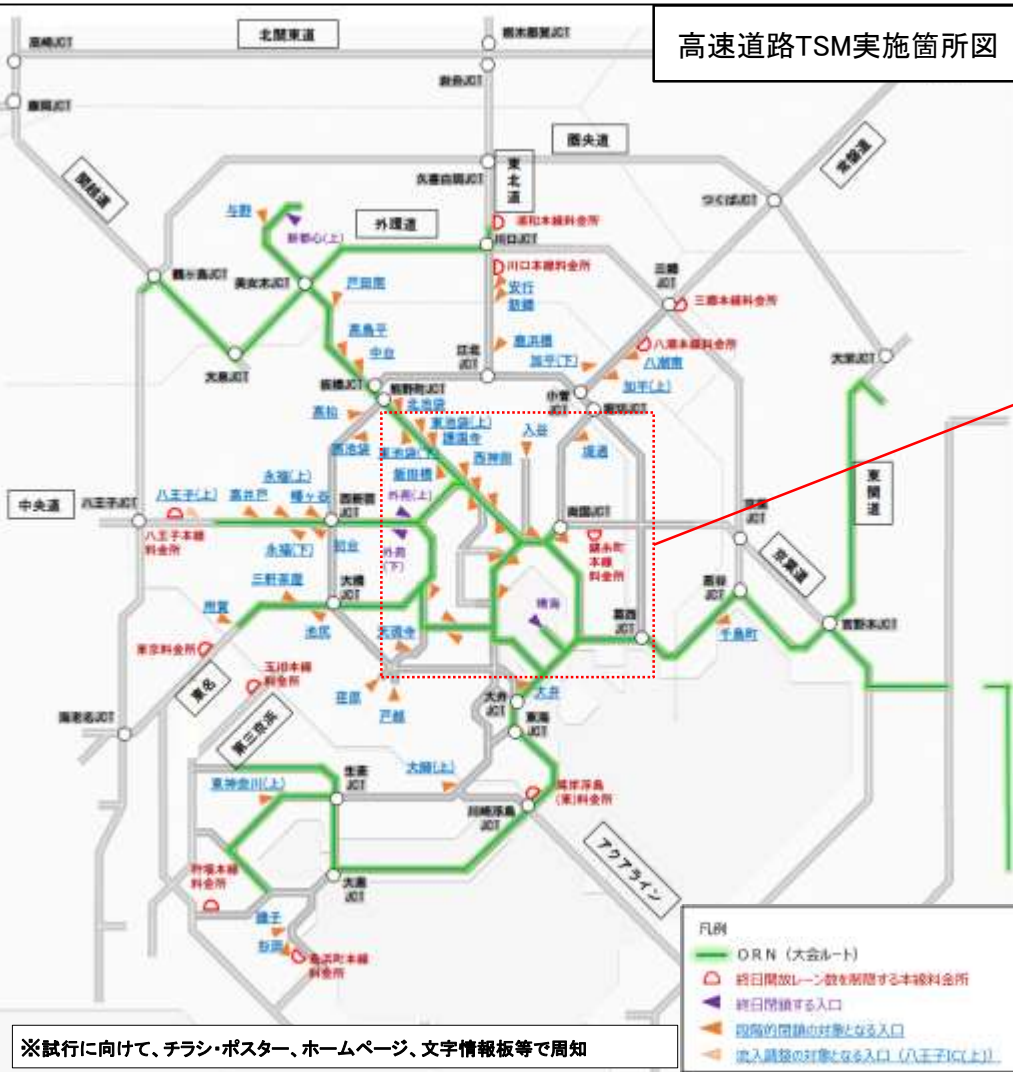
本線料金所: 11箇所 / 32箇所 (圏央道内側)
 入口: 4箇所 / 302箇所 (圏央道内側)

5. TSMの試行内容

(3) 高速道路において交通状況に応じて段階的に実施する対策

- 交通混雑が発生しやすい箇所において交通状況をモニタリングし、一定の交通量を超えた時点で、渋滞を未然に防ぐために効果的な入口を閉鎖する。交通量が増加し続ける場合は、入口閉鎖の箇所を追加していく。
(閉鎖対象の入口は以下の図のとおり)
- 閉鎖の解除については、交通状況に鑑み、渋滞等が発生する恐れがなくなった際に実施

高速道路TSM実施箇所図



都心部拡大図



【TSM対象箇所】

入口: 50箇所 / 302箇所 (圏央道内側)
対象の50箇所のうち必要な箇所を段階的に閉鎖していく。

- 入口閉鎖を実施する箇所・時間については、各日の交通状況によって異なる。
- 事故等による渋滞が発生した際には、本線車線規制、区間通行止め、ジャンクションでの方向別規制等のほか、これ以外の入口を閉鎖する場合があります。
- 試行の結果を踏まえて、TSM実施箇所等の見直しを行う。